



■平成11年8月15日創刊 ■第2号 ■発行/深沢直久後援会 太田市寺井町669番地 ☎(0276)37-0716 〆(0276)37-0715

前略 皆様

早いもので、もう一年がたちます。この新聞が皆様のお目にとまるころには、一年が過ぎていくかも、知れませぬ。

この一年、私の人生でも、二度と経験が出来ないことばかりだったように思われます。議会のなかでも、6月と12月に一般質問をいたしました。役職は、総務文教副委員長6月は、北関東自動車道と、老人介護保険 12月は、学校の開放と太田の観光についてでありました。2回やっても、まだ慣れませんが、最初は、言うので手いっぱい、解答を聞く余裕ありませんでした。情けないことです。2回目は、勉強をして質問をしました。振り返ってみると言い回しがくどく自分で解答を言ってしまった様で、恥ずかしいかぎりです。とにかく色んなことを経験中です。長い目で見て下さい。

さて、議員になってからの太田市はめまぐるしいほど変化しています。

1. 北関東自動車道

毛里田は4月25日合意。

強戸は、本線設計合意、調印。

土地買収に入る。

2. 強戸のリーベ問題

太田市が事業継承、40ヘクタール。

土地開発公社です。

3. 新野、脇屋住宅団地

県企業局が手を引く。

太田市が単独開発。

土地開発公社です。

4. 老人介護保険

自立認定者にも太田市独自案。

重度者にも独自案。

政府の期限付きに、戸惑い。

5. 行政機構改革

大幅に刷新。部長職が減る。

事務総括職出来る。二十数人減る。

6. 12年度予算

498億9千万円(前年度比0.1%減)

特別会計では、総額を267億

5885万1千円(前年度比12.4%増)。

3月議会では12年度の予算の特徴として：  
 ○お金がない時なので今までの太田市の実行プランの中でだいたいじな物に優先順位をつけて実行していく。  
 ○景気回復や借金を減らす為にお金を使わないというだけではなく使いたがらも限度を決めてこれ以上借金を増やさない方向に努める。その為に各所の予算を配分して、振り分けて実行を始める。

こんな所が12年度予算を決める中で私の頭の中に入って来たことばです。

早々

徒然草

「生命尊重の教育」

強戸中学校の校医をさせてもらっている関係で、毎年生徒にいろいろお話をしています。しかし話だけではわかってもらえないことも事実です。特に「命の大切さ」は言葉では理解できても「肌で感じる」ことが難しいと思います。そこで強戸中に、4ヶ月の乳児検診を見学させ、その際母親から「承が得られれば着替の手伝いや身体計測の手伝い、あるいはだっこをさせてもらったりして直接赤ちゃんに触って、いかに赤ちゃんは弱い存在か、いつも面倒を見ていなければならぬかを、感受性豊かな中学生のとき体験させたいと考えました。最近若い母親には、赤ちゃんを責任と愛情を持って育てるといふ本能が欠けているのではと疑うような事件や事故が新聞やテレビで見られます。特殊な例ですが、夏、ギャルママが4ヶ月の子供を家においたまま一晩遊びにいった、翌日帰ってきたら死んでいた。原因は脱水。ミルクを子供のわきにおいてはあったらしい。これなどはまさに命の大切さを肌で感じていなかったからだと思います。今年2月、2年生7人が乳幼児検診を見学し赤ちゃんに触れました。赤ちゃんのやわらかさ、あたたかさ、ぬくもり、触れていることの気持ちよさがわかったことでしょうか。そのレポートを読んでみると生徒たちの新鮮な感動や驚きがいっぱいでした。これらのことが父性や母性につながると思います。特に男子生徒が着替えを手伝ったり、だっこしている姿は大変に新鮮でした。これからは政府がいう「男女共同参画社会」のためにもこの企画をすすめていこうと思います。別の方面、議会活動や育成会活動で「命の大切さ」を教える企画があれば素晴らしいと思います。(後援会長 中野正美)

深澤直久 12月議会一般質問

これからは、忙しい時代に失ったもの、気が付かずに通ってしまった身近なものに気が付き、あるものをもっともって利用していくことです。

**Q** 太田に、旧校舎を改造して日本でもまだめずらしい校舎の学校が出来たと聞きました。どこですか。また、どんなところが特徴ですか。

**A** 九泊小学校です。改造なので、6億円かかるので3億8千万で出来ました。一般教室は、廊下、教室、バルコニーのかべをとり外し、仕切られていたものがなく、窓の外には船の甲板があります。

**Q** めずらしいので太田市では、PRしているとおもいますが、どんな評価をされていますか。

**A** この校舎改造は、学校施設情報誌や建築専門誌にも取り上げられ、横浜市・新潟市・熊谷市の教育委員会や建築関係者が視察にきています。台湾の国立大の建築学科からの資料提供依頼があります。活動スペースが広がり子供たちの学習意欲が今までより高まり、保護者や、地域の人達からも評価を得ています。

**Q** このような校舎を造ったのだから、これからは大切に使用していかなければなりません。改造だけでも数億かかるのですから。また、教育には費用が大変かかります。家庭のなかでも、生活に占める子供への教育費が非常に多くなっています。当然のごとく稼がな

ければなりません。家で子供にかかわる時間がなくなり、一番大切な少年期に関わりをもたなくなっています。色々な人との付き合の仕方を、親も子供も知らないのです。教育は学校・家庭・地域が一体とならなければといわれて久しいですが、学校の、地域・親への開放は出来ないのでしょうか。

**A** 校舎の開放については、学校管理規則に基づき校長の判断に課せることになり、学校の余裕教室の開放にあたってネックは、利用者の使用責任体制が明確であり、学校運営に支障を来さなければ特に問題はありません。ただし、教室をずっと貸すことになることと文部省との手続きがあります。最近(社会教育施設はもちろんですが)文部省もそこは聞いてくれるようになりましたが、目的外

使用は補助金を返せとすぐいわれます。しかし教育というのは、まず学校が開かれた場所であり、そして学校と地域と家庭が、三位一体となって具体的な行動を共にしていく事であるとして、各学校を指導しているところ

です。そして、地域の色々な知識や技術をもっている方々を学校に導入すると同時に、世代間交流、地域の施設の活用ということで、学校はおおいに活動的になったと思われれます。現在も、体育館、グラウンドは、使っていただいていますが、教室やコンピュータなどは、管理上の責任体制を考えていかないと、軽々しく学校開放というわけにはいきません。

わが国の経済は、戦後、工業生産を中心に右肩上がりを遂進してきました。私たちも何の疑いもなくその方向で価値観をもち仕事をしてきました。しかし、経済はバブル崩壊後

依然として立ち直れず、私たちの貯金がどんどん目減りしていつにいつ現在の不況というのは、決してバブル崩壊というだけではなく日本の産業構造が根本的に変わってきたのです。もうこの不況は、政治、行政の主導で切り抜けるのではなく、脱出できる所から自ら脱出していけという状況になっています。

**Q** 太田は工業生産に意識がいつてしまつてあまり観光というものに目がいきません。太田は、品格のある住んでみたい町を提唱しているわけですから、眠っている観光資源を利用して町の活性化をはかれないものでしょうか。太田は歴史の宝庫です。文化財を生かした観光資源の整備をし、観光施設の有料かをかり、利益をあげる必要があると思

います。過去数年の観光客の推移や、国・県・市指定文化財はどの位あるか、埋蔵文化財はいつ、どんな形で公開するのでしょうか。

**A** 市民参加型のイベントを展開しています。●関東山野草展12万人 ●さつき祭り8万人 ●夏祭り20万人 ●花火大会70万人 ●関東菊花大会48万人など、170万人が太田のイベントに訪れています。また太田市には●国指定6件(金山城跡、天神山古墳、高山彦九郎跡など)、●人間国宝2人、●県指定8件(さざえ堂、牛沢朝子塚古墳、冠稲荷のボケなど)、●市指定42件(鷹匠はにわ、沖之郷山車、新井八幡宮の獅子舞など)。埋蔵文化財は、随時現場説明会、文化財保護課3階資料展示室で見られます。

**Q** 170万人が、来ているということですがイベント性の強いもので一過性のものばかりで





す。観光のもつ一つの目的は、その経済性です。170万人の人が、1万円を使ってくれたら、この効果は絶大です。私自身は観光に結びつく有料化は必要だと思いません。観光バスも無料の所には来ません。お金が取れないからです。

〔有料化をしやすいこと〕

●高山彦九郎記念館

外国人には非常に人気の高いところ（小さい京都が太田にあるとの評価）。観光コースを作りその一つとして立地させ、2階を埋蔵文化財の展示館として毎回違ったものが見られる利点を発生させる。

●金山城跡

金山の駐車場まで大型バスが上げられないのが問題であれば、仮称トロツコバスで上げれば良い。これ自体を観光に出来ないか。お客様や子供が、太田にいくとあのトロツコバスで金山に登れるのをたのしみにできないか。

●大光院門前町

関係地権者の固定資産税を減免し、町並み観光整備を制度化資金の流用でなし、ひもうちせん、のれんの似合うところに改造する。地権者にはテナント方式による貸し屋業をしてもらい商売をやりたい人を誘致する。元気な店の2号店3号店に出をしてもらおう。行政として、そのきっかけをつけられないか。これに対する解答は非常にあつけないものでした。

平成12年12月 太田市議会一般質問

- Q…平成12年度予算編成について
- A…平成15・16年が一番耐えていかなくはならない都市の状況になる。陳情は12億円分ある。全体のなかで順位付けをする。
- Q…配水管の布設替えについて
- A…114キロメートル分ある。31億3千万予算。農業集落排水事業は100億かける。新年度は4億円。5.6キロメートル
- Q…生涯スポーツについて
- A…小学校・中学校にスポーツ指導者派遣を推進している。基本は自分たちでスポーツをすることで行政の指導ではない。
- Q…東毛幹線道路網について
- A…407号迄平成18年完成、太田の上幹道路なので積極的に推進する。
- Q…都市間交通バスの運行について
- A…東毛サマールランド跡地。駐車場を利用してパークアンドライド（駐車して乗る）方式でシャトルバスを整備したい。
- Q…市町村合併について
- A…議員同志の交流が必要。

- A…●高山彦九郎記念館  
展示規模を考えると当分の間、無料です。
- 金山城跡  
広域公共バス路線のなかで検討されているので、それをふまえて検討いたします。

●大光院門前町

太田市は、固定資産税はいただきます。商売は人に頼るものではないし、まして、太田市に不動産屋になれというのでしょうか、できません。

- Q…新野・脇屋住宅団地について
- A…企業局管理者が変わり協議が綿密な打ち合わせになっている。太田市と協同開発となる。早急に準備発表し、来年度にはとりかかりたい。
- 変化：太田市単独で開発と決定：12年1月。
- Q…学校づくり
- A…たいへんよい校舎ができた休泊小学校です。古い校舎を改造して学級の枠を少なくして学年の枠を作った。
- Q…学校開放について。校舎を地域の人が使えないか
- A…段階を経て。地域の人が学校にきてくれるのは良いこと。管理上の問題と校長の判断。
- Q…太田には文化財が、たくさんあるが料金を取って観光化できないか
- A…有料化はいまの太田はまだそこに至っていない。
- Q…太田の機構改革について
- A…部長が少なくなり副部長と総括が各課を動かす。

- Q…地域経済活性化策・地域振興券
- A…管理枚数・平成11年12月現在29万1261枚。
- Q…機構改革で各部署の名前、場所が変わってわからなくなる
- A…心配をしている。来庁される市民が多い所は動かさない。柔軟な対応をする。しかし、何でも行政頼りは良くない。市民にも責任があることも知ってほしい。
- Q…新年度予算編成について
- A…今年度比95.4%マイナス4.6%とする。あらたに定期借地地権制度で土地を貸す所がある方向。
- Q…沢野小学校について
- A…小学校1300人以上になってしまったため分離校とする。前面移転はしない。平成17年に34クラスになってしまふ。1月29日地元より分離校という要望が来た。
- Q…働く女性のために夜間の保育サービスはできないか。
- A…対応はできない。こどもの為には母親は特に夜は居てあげるのがよい。
- Q…学童保育所の増設、支援の強化について
- A…各学校に押届ける必要と民間の力と心分の負担でやっていく必要がある。
- Q…リーベニュータウンの開発承継の問題点
- A…市長…正しい判断で決めたことなのでこの方向でいく。
- Q…21世紀に向けた少子化対策について
- A…3人以後の保育料無料。年額40万円
- Q…1市5町のリサイクルプラザ構想について
- A…市町が負担し広域になって大規模に作り各負担を軽減するよう指導がある。

### 平成12年3月定例会施政方針ならびに予算に対する総括質疑

Q…平成12年度予算大綱について

A…借金570億円を超えているので増やさない。市債発行を抑え、人件費を少なくする初めての試み。予算のワケ配分方式にした。12年度予算は498億9千万円・介護保険17億円(新規)(両方をプラスすると33%の伸びと考える)太田市の決算書を市民に公表する。バランスシート。

Q…経済活動にともなう諸問題について

A…行政と市民が同じランクで話ができる様にした。東毛広域圏のなかで車検場を作りたい。ナンバープレートに地元の名前。

Q…教育、文化振興について

A…変化のなかでも主体的なたくましい子どもを育てたい。自分で考え、行動し、判断できる人間を望む。チャンスは均等に与えているというのが行政である。あとは能力。インターネットが各学校に入ったので、ホームページ大賞を作りたい。

Q…景気の回復と地域経済の活性化について

A…地元企業の公共事業の元請・下請徹底する。市内業者の選択をする。市民農園。総合的な面的な農地防災。公共事業は100億円発注。

Q…21世紀の太田の将来像は?

A…品格のある町、人づくり。農協跡地を売ってもらいそのあとに美術館を創りたい。

Q…都市基盤整備に伴う住宅政策について

A…新野、脇屋住宅団地は北部開発等の中心的な場所になる。区画は4つ。戸数は239、233、224、188、単価17万8千円/坪。10年計画。リーベの土を脇屋に。土地購入に融資制度検討。新野脇屋は都市計画上良いところにある。

Q…地域住民の交流の場づくり

A…大きい地区は2館創るほうが便利。宝泉次に九合。

### 今年の気象予測

我が家に樹齢200年を越える木があります。ハクモクレンという木です。元来植物は好きですが、ときどき話しかけてみたりもします。すると樹も話をしてくれます。

「今年はどうな天気になるかね」

「人間さんは、めんくらうだろう。樹も面食

らっているんだから。一ヶ月ほどづれるよ。気温はいつも同じに暖かくなったので葉っぱをだしたら、えらく冷たい強えー風がふきやがる。葉っぱがもぎれて実がつかねーよ。今年はまだをみて、みんなも揃って芽をだしているからって、あわてて芽をだすと風にやられる。タイミングのよしだね。天気も、だからだのようだし、はつきり、すつきりにはならないよ。」

### 掲 示 板

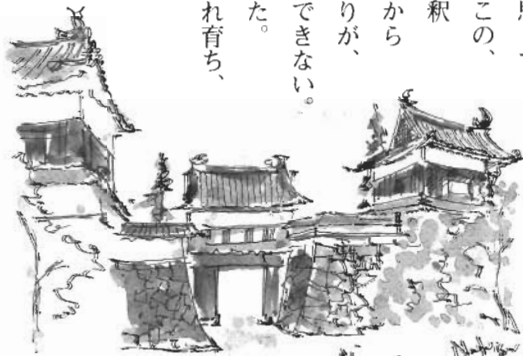
議員になってから視察というものに出くわします。太田市が抱えている問題の先進地で、自治体をお尋ねし勉強させて貰うのですが、研修が終わると「市内を見ますか」と必ずくる。…お城が多い。…公園が多い。役所の人が選んで連れていくのか、我々が見てみた

のか、古い建物や城、寺社、公園…。公園も城跡公園。俗に言う名所、旧跡。こんなただの観光じゃないか…と少し冷ややかに思っていました。…しかし…その、いや、その地を理解し解釈

するには、その地の歴史から入らないと、その人となり、心意気というものが理解できない。だからだと思直しました。さて、この太田に生まれ育ち、生活をしている私達は、この地をどれくらい

知っているのでしょうか。

深沢 直久



上田 直久 2000.4.11